

令和5年度進行管理・評価シート

横手市歴史的風致維持向上計画（平成30年7月11日認定）

（最終変更 令和6年3月11日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)

1 計画実施のための組織体制	1
----------------	-------	---

②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)

1 景観計画との連携	2
------------	-------	---

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)

1 横手市増田伝統的建造物群保存地区修理等事業	3
2 後三年合戦関連遺跡群調査事業	4
3 羽黒町・上内町地区景観重点地区景観形成事業	5
4 増田地区景観重点地区景観形成事業	6
5 北部重点区域環境整備検討及び整備事業	7
6 「横手を学ぶ郷土学」事業	8
7 りんごの歴史探訪支援事業	9
8 郷土文化保存伝承支援事業	10
9 後三年合戦周知事業	11
10 りんごまつり開催支援事業	12
11 歴史的風致情報発信事業	13
12 案内板設置事業	14
13 都市計画道路八幡根岸線事業	15
14 果樹園景観眺望視点場整備事業	16
15 ガイド養成事業	17

④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)

1 文化財の調査、指定、保存と活用	18
2 文化財の修理、周辺環境の整備	19
3 文化財の防災	20
4 文化財の普及・啓発の取組、民間団体への支援・協力	21
5 埋蔵文化財の取り扱い	22

⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)

1 横手の歴史的建造物ポケストップで登場 国交省連携ポケモンGO 東北初	23、24
--------------------------------------	-------	-------

⑥その他(効果等)(様式1-6)

1 歴史的建造物と周辺環境の保全による、まちなか回遊とにぎわいの創出	25
------------------------------------	-------	----

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	26
-------------------------	-------	----

評価軸①-1
組織体制

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
計画実施のための組織体制	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

歴史的風致の維持向上を図るためには、関係各課との意識と情報の共有が不可欠であり、本計画の推進にあたり、まちづくり推進部文化振興課を事務局に、文化財保護課、都市計画課、農業振興課等と連携した庁内体制を構築していく。

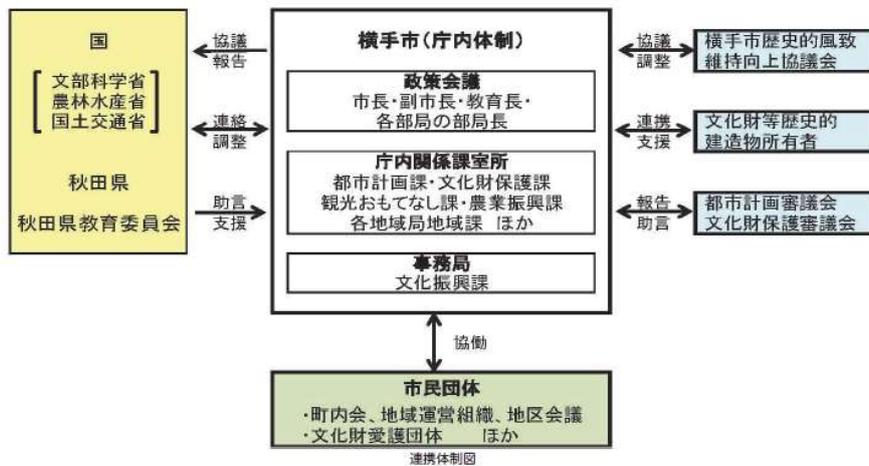
また、町内会や地域運営組織、地区会議、文化財愛護団体等との協働を図るほか、国や秋田県・秋田県教育委員会と協議を行い、助言や支援を得るとともに、歴史まちづくり法第11条に基づき設置した「横手市歴史的風致維持向上協議会」において、計画の推進や変更、事業の円滑な実施について協議を行う。必要に応じて都市計画審議会等の各審議会に報告し助言を得るほか、文化財等所有者や関係団体との連携を行うものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 関係部署との協議等により事業の進捗と計画の促進を図った。
- ・庁内関係課室による「歴史まちづくり連絡調整会議」を2回実施した(令和5年4月28日、11月6日)
 - ・横手市歴史的風致維持向上協議会を2回実施(令和5年6月20日書面開催、令和6年2月26日)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	中間評価に基づき課題認識を確認・共有することで、計画期間後半の軌道修整を計画変更等により織り込んだ。

状況を示す写真や資料等



横手市歴史的風致維持向上計画の実施体制(令和5年度)



庁内 歴史まちづくり連絡調整会議
(令和5年4月28日)



歴史的風致維持向上協議会
(令和6年2月26日)

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
景観計画との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

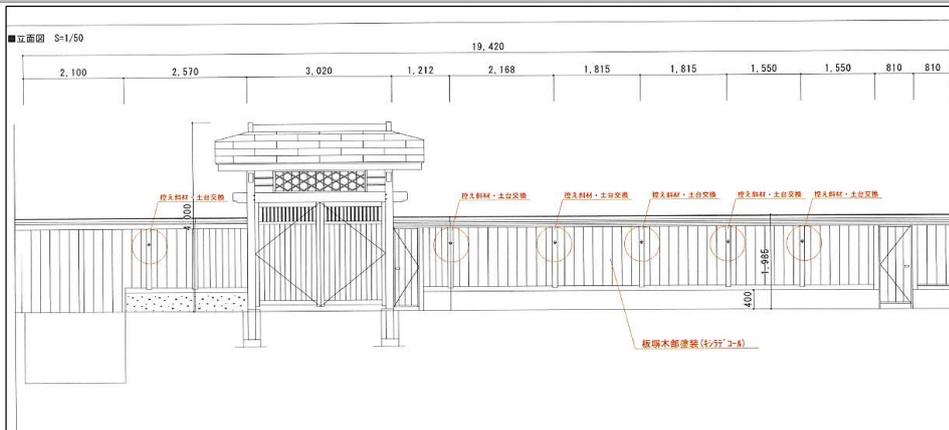
計画に記載している内容
 横手市の景観施策は、平成16年(2004)に施行された景観法に基づき、景観保全と創造に取り組んでいる。平成21年(2009)に横手市は景観行政団体になっており、その施策は、景観条例、景観計画、景観地区に関する都市計画、屋外広告物条例の4つの柱から成り立っている。景観計画と景観地区に関する都市計画は、「山と川、豊かな歴史あふれる景観を、守り、育て、つなげる田園都市」を目指している。横手市景観計画では、自然景観、田園景観及び市街地景観の3つの景観に区分し、それらを横断する景観形成軸(田園景観形成軸、水辺景観形成軸、都市景観形成軸、丘陵地の景観形成軸)を設定することで、景観の形成・維持の方針が定められている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

建築物や工作物の新築、増築、改築若しくは移転、外観を変更することとなる修繕若しくは模様替又は色彩の変更、開発行為などのうち、景観への影響が大きいものについては、景観法第16条に基づく届出制度により、景観誘導を図っている。
 ・届出対象行為の件数:12件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	景観づくりの基準は、「自然景観」「田園景観」「市街地景観」のゾーン別に設定しているが、色彩については、地域特性が異なるゾーンを一律の基準で規制している。そのため、実態との乖離が生じており、そうした乖離を解消し、より横手市の地域特性や風土を活かした景観形成を進めていくため、景観計画における「景観づくりの基準」の見直しや地域の景観を特徴付ける良好な景観資源の保全と活用のため、景観重要建造物の指定についても検討していく。

状況を示す写真や資料等



景観形成事業補助金を活用した板垣の保全

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
横手市増田伝統的建造物群保存地区修理等事業			現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成26年度～令和9年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(国) 重要伝統的建造物群保存地区整備費補助金(県)		
計画に記載している内容	横手市増田伝統的建造物群保存地区保存計画で特定されている伝統的建造物の修理及びそれ以外の建造物等の修景を行う所有者への支援、市所有の伝統的建造物の修理を行う。また、耐震診断や耐震補強についても必要に応じて行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
3件の修理事業、1件の修景事業を実施した。 ・高橋茶舗主屋修理事業 ・後藤精肉店主屋修理事業 ・山吉肥料店門修理事業 ・桐谷呉服店塀修景事業			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史的なまちなみを保護・継承するとともに、修理技術者に対する修理技術(伝統工法)向上や防災意識の向上にもつなげるなど、様々な角度から歴史的風致の維持向上に結び付ける意識づけが必要である。		

状況を示す写真や資料等

高橋茶舗主屋修理事業



修理前



修理後

後藤精肉店主屋修理事業



修理前



修理後

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	

後三年合戦関連遺跡群調査事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成22年度～令和6年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(国)
文化財保護管理費補助金(県)

計画に記載している内容 推定地となっている金沢柵をはじめとした後三年合戦関連遺跡群の場所を特定するために、金沢城跡等の関連遺跡群において、科学的な方法に基づいた発掘調査を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・金沢柵推定地第3次5か年計画の4年目にあたる。
- ・発掘調査面積は約220㎡。
- ・これまで金沢城跡で未調査であった平坦な地形や塚の存在から古代の可能性が推定された北の丸北東部の発掘調査と測量調査を行い、中世後期の墓域が発見された。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

・後三年合戦関連遺跡整備指導委員会及び史跡検討会、また文化庁による指導において、中世後期の金沢城跡の内容を具体化し、その上で金沢柵の痕跡を明確にすることの指導があった。

状況を示す写真や資料等



金沢柵推定地遠景
(左手前:国史跡 陣館遺跡、右奥:金沢城跡)



金沢城跡北の丸北東部で
確認された塚状遺構



金沢城跡北の丸北東地区で確認された墓跡



墓跡から出土した中世模鑄銭

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
羽黒町・上内町地区景観重点地区景観形成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 羽黒町・上内町地区景観重点地区において、板塀や生垣の設置・修繕等への支援を行うことで、良好な景観を形成していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

横手城下に位置する羽黒町・上内町では、かつての武家町の面影が残り、歴史的建造物の他、板塀や生垣などの工作物が織りなす自然と歴史が調和した景観は維持向上すべき歴史的風致の一つであり、それらを取り巻く周辺環境も景観上、保全すべきものである。

- 令和5年度は以下の補助金を交付した。
- ・景観形成事業補助金 1件(板塀の新設及び修繕)
 - ・景観まちづくり委員会補助金 1件(旧町名標柱の修繕3本)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

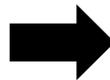
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

歴史的風致を構成する要素となっている建造物を保存するため、継続的に修復に対する支援を行いながら、市民の歴史資源や景観の保全に対する意識の醸成を図る。

状況を示す写真や資料等



実施前



実施後

景観形成事業補助金(板塀新設及び修繕)



実施前



実施後

景観まちづくり委員会事業費補助金(旧町名標柱の修繕)

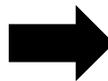
評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
		項目	現在の状況
		増田地区景観重点地区景観形成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	増田地区景観重点地区において、景観ガイドラインの基準に適合した、建物の外観の部分的な補修や木造門塀、垣等の設置、補修又は修景を行う際に支援をすることで、良好な景観を形成していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和5年度は以下の補助金を交付した。 ・景観形成事業補助金 2件(板塀の補修) ・景観まちづくり委員会補助金 2件(木製ベンチ塗装補修11台・ゴミ集積所塗装1箇所)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	増田地区景観重点地区内における街なみに調和した建築物等整備を実施することにより、歴史的街なみと調和した風情ある景観の保全及び形成を図る。		
状況を示す写真や資料等			



実施前

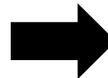


実施後

景観まちづくり委員会事業費補助金(木製ベンチの塗装補修)



実施前



実施後

景観まちづくり委員会事業費補助金(ゴミ集積所塗装補修)

評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	

北部重点区域環境整備検討及び整備事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 令和2年度～令和9年度

支援事業名 歴史的観光資源高質化支援事業ほか

計画に記載している内容 羽黒町・上内町地区景観重点地区と、旧街道の羽州街道沿いにおける歴史的風致との連続性を活かした環境整備について、住民等とのワークショップを開催しながら方針を検討する。作成した方針に基づき、歴史的なまちなみを阻害する建築物等の除却や空き地等の活用及び美装化を実施するとともに、まちなか拠点施設の整備により、インバウンドの促進も図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年度に策定した「横手城下の歴史的風致を活かしたまちづくり方針(北部重点区域環境整備方針)」に基づく施策を着実に実施した

- ・「横手城下歴史フェスタ」の定着によるにぎわいの創出
- ・総務省地域情報化度アドバイザー派遣事業も活用した「横手城下語りべ講座」(全10回/語りべ認定12名)による人材育成、受講生により「横手城下 語り部(かたりぶ)」を結成した
- ・歴史的観光資源高質支援事業を活用した歴史的なまちなみを阻害する建築物等の除却

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない
- ・景観重点地区内の空き地について、周辺環境と調和した生垣等を設置し、駐車スペースも兼ねた緑化空間として整備を検討する

状況を示す写真や資料等



横手城下 語りべ講座の様子(左:認定式 右:実習 右下:日程)



月/日	時間	タイトル/講師(敬称略)
5/25 (木)	18:30~ 20:30	横手城下エリアのまちあるきと歴史まちづくり 林洋一郎(日本工営株式会社仙台支店/技術士) 文化振興課
6/10 (土)	9:00~ 12:00	体験!横手城下のまちあるき 音の拡散現象アプリまくあるく横手城下、 歴まちx「Pokemon GO」ほか
6/28 (水)	8:30~ 16:30	城下町新庄の謎解き&音講/山形県新庄市 新庄市商工観光課クールジャパン/新庄推進室
7/8 (土)	10:00~ 12:00	現役ガイドによるまちあるき体験&意見交換 増田町ガイドの会 佐藤豊(横手市増田)
8/19 (土)	10:00~ 16:00	オープンデータと地域発信/発見 岡本真(総務省地域情報化アドバイザー) 山崎博樹(知約資源イニシアティブ代表理事)
9/9 (土)	10:00~ 12:00	秋田県における城代・所預と佐竹各学派 遊辺美由(秋田大学名誉教授)
10/19 (木)	18:30~ 20:30	秋田県の花柳界史~横手を中心に~ 小松和彦(小松クラフトスペース店主)
10月		「まちあるき」企画の準備
11/3 (金・祝)	9:00~ 12:00	受講生による「まちあるき」企画
12/2 (土)	14:00~ 17:00	講演&対談 地方からの発信のカタチ 講演 安倍真(無明舎出版 店主) 対談 安倍/松川敬志(秋田県新聞 報道センター長)

横手城下 歴史フェスタの様子(左:チラシ 右:庭園小市)



まちなみ景観を阻害する建築物の除却(左:除却前 右:除却後) ※羽黒町上内町景観重点地区

評価軸③-6
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
「横手を学ぶ郷土学」事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 横手を学ぶ郷土学総合テキスト、まんがによる歴史テキストの作成や子ども伝統芸能発表大会の開催を行い、市内小中学生等の郷土愛醸成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

児童生徒や市民の郷土歴史文化理解の深化と、魅力を市内外へ発信する人材の育成のため学校等と連携して事業を進めた
 ・横手を学ぶ郷土学ワークショップとして、小学生を対象に蟹沢遺跡発掘体験を実施した
 ・民俗行事等無形文化財の記録映像を撮影し、学習利用できるよう「横手市無形民俗行事デジタル映像作成」を実施、13件の映像記録を行った
 ・市内小中学校の社会科学習等で資料館の活用を呼びかけ、受け入れを行った(雄物川郷土資料館 13件)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	郷土学総合テキスト及び民俗行事の記録映像について、市内小中学校等での活用を促進していく
--	---

状況を示す写真や資料等



蟹沢遺跡発掘体験の様子
吉田小学校(令和5年7月8日)



社会科学習の様子
十文字小学校(令和5年12月9日)



無形民俗行事映像記録 取材の様子
百万遍念仏(令和6年1月8日)

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
りんごの歴史探訪支援事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和元年度～令和5年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 秋田県におけるりんご栽培発祥の地である増田・平鹿地域のりんごに関する歴史探訪を支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【増田地域】亀田地区交流センター主催
 ・県果樹試験場の圃場視察(最新の栽培技術、品種改良等の解説)、秋田のりんご栽培発祥地「清香園」の見学、樹園地でのりんごもぎ取り体験、傾斜地の樹園地景観の眺望体験など
 ・JA秋田ふるさとのジュース加工場や選果場も見学し、最新技術によるジュース加工や果実の選果・箱詰め・出荷の工程を見学した。参加者13人

【平鹿地域】醍醐地区交流センター主催
 小学生を対象に、平鹿りんご栽培の礎を築いた先人について学び、また、りんごを使った肉巻き、ピザ、サラダづくりと試食を行い、収穫した地元「平鹿りんご」を味わった。参加者26人

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 今後も同様の取組みを継続するとともに、果樹生産地を維持していくために後継者育成の視点も求められる。

状況を示す写真や資料等

【増田地域】りんごの里歴史探訪～もぎ取り体験～
 令和5年10月18日(水)



藤原利三郎「頌徳碑」、りんご栽培の歴史解説



JA秋田ふるさと増田選果場の見学

【平鹿地域】平鹿りんごの歴史を知らう！&りんごを使った料理教室
 令和5年12月27日(水)、醍醐地区交流センター



「平鹿りんご」栽培の歴史を学ぶ



「りんご」を使った料理づくり体験

評価軸③-8
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
郷土文化保存伝承支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成18年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 各地域に伝承される有形・無形の文化財の現状確認と、市民を対象にした探訪会や講演・学習会の開催、伝承の記録保存事業の実施に対し支援を行い、郷土の貴重な文化の保護と継承を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

横手市文化財保護連絡協議会や関係課等が行う保護や取り組みを支援した
 ・市内全域の文化財標柱及び説明板の現状確認、3か所の修復
 ・市民を対象にした地域の文化財探訪や講話会(文化財探訪6回、講話会3回)
 ・小学生を対象にした年末年始行事伝承事業の開催

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	郷土を知る探訪事業等への幅広い年代に関心を抱かせる取り組みが必要となっている。
--	---

状況を示す写真や資料等



標柱・説明板パトロールの様子



標柱修復の様子



文化財探訪の様子
山内黒沢・熊野神社(令和5年10月7日)



年末年始行事伝承事業の様子
(令和5年12月14日)

評価軸③-9
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況
後三年合戦周知事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成21年度～令和6年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金

計画に記載している内容 後三年合戦関連遺跡群や、地域で伝えられてきた後三年合戦にまつわる伝承地などを、広く市民等に周知し、まちづくり及び郷土理解の促進、観光資源として活用するために、シンポジウム等を開催するほか、パンフレット等を作成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・後三年合戦沼柵公開講座では、発掘調査の報告及び有識者による講演を実施(参加者 130名)
- ・後三年合戦金沢柵公開講座では、後三年合戦関連遺跡群の今年度調査【横手市-4に記載】の報告及び有識者による金沢城跡に関する講演を実施(参加者 160名)
- ・シンポジウム資料のWEB公開

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 例年、多くの来場者があり、周知事業の成果は表れている。例年パンフレットを作成しているが、今年度は、史跡大鳥井山遺跡の遺構・遺物の再整理を行い、将来的な保存活用事業へ活かす取り組みを開始した。

状況を示す写真や資料等



後三年合戦沼柵公開講座ポスター(左)



後三年合戦金沢柵公開講座ポスター(上)



後三年合戦沼柵公開講座の様子
令和5年8月20日(日)、雄物川コミュニティセンター



後三年合戦金沢柵公開講座の様子
令和5年12月24日(日)、美郷町公民館

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
りんごまつり開催支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和41年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 秋田県のりんご栽培発祥の地である平鹿地域及び増田地域において、りんごの収穫期に毎年行っているイベントを支援し、市の内外に平鹿りんごのPRを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【増田地域】真人公園りんごまつり

・(一社)増田町観光協会が主催する「真人公園りんごまつり」を運営支援した
 ・りんご直売会、ミスりんごコンテスト、りんご皮むき競争、「リンゴの唄」コンクール、りんごウルトラクイズ(来場者 約220人)

【平鹿地域】平鹿りんご味覚まつり

平鹿りんご味覚まつり実行委員会による「平鹿りんご味覚まつり」の開催を支援した。会場内では、りんご・野菜など農産物の直売や樹園地でのりんご狩り体験等が行われた。また、ゆっふるでは、甘い香りのりんごを浮かべた「りんご風呂」に入ることができ、平鹿りんごのPRに繋がった。(来場者 約2,000人)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	現在、平鹿りんご味覚まつりの会場としている市の施設に指定管理者制度の導入が検討されている。同制度が導入された場合、イベント継続や円滑な遂行のため、指定管理者との協議・調整を実施する必要がある。

状況を示す写真や資料等

【増田地域】真人公園りんごまつり(令和5年10月15日) 会場: 真人山荘(雨天のため)



ミスりんごコンテストの様子



りんご皮むき競争の様子

【平鹿地域】平鹿りんご味覚まつり(令和5年11月3日) 会場: ときめき交流センター ゆっふる



りんご狩り体験の様子



りんご直売の様子

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
			現在の状況
歴史的風致情報発信事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重点区域内の回遊を促すようなガイドマップの作成や、案内・誘導をサポートするため、主要スポットに公衆無線LAN(Wi-Fi)環境を整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			

・既存観光パンフレット(横手じゃらん)の増刷及び電子ブックでの運用による観光地情報の発信
 ・北部重点区域内(横手城下エリア)の回遊ルートとして、歴史まちあるきをテーマとした4ルートを造成、まちあるきマップのWEB公開及び配布【横手-25も参照】

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・整備した増田の町並み(南部重点区域)設置のWi-Fiについては、更なる通年での利用を促すために周知を図る。 ・Wi-Fi環境整備については、追加スポットも検討していく。

状況を示す写真や資料等



横手じゃらんのビジュアル ※パンフレット及び電子ブック



横手城下まちあるき マップより ※4ルートを造成

評価軸③-12 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況

案内板設置事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 令和2年度～令和9年度

支援事業名 市単独

計画に記載している内容 市内の文化財や史跡などに誘導する案内板等について、案内機能の向上を図るために、表記方法や意匠の統一化、多言語化等、策定したサインガイドラインに基づき整備する。ガイドラインを踏まえ、計画的に案内板の設置を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・訪日外国人旅行者の滞在満足度向上及び観光地情報の発信を目的に、令和3年度に英語、令和4年度に中国語(簡体字、台湾繁体字)の解説文テキストを作成した。令和5年度は、韓国語のテキスト作成を予定していたが、観光庁補助事業が不採択となったため、案内板等の多言語化環境整備に向けた検討を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない
 作成したテキストについては、関係機関とも連携し、WEBでの公開や案内看板等での活用を図る。

状況を示す写真や資料等

The screenshot shows a website with a navigation menu on the left and main content in Chinese (Simplified and Traditional), English, and Japanese. The main content includes a title 'Yokote's Snow-Covered Orchards and the Story of the Sun Fuji' and a sub-section 'The Development of Apple Farming in Yokote'. There are also images of apple orchards and a QR code.

これまで作成したテキストを掲載したWEBページ 英語、中国語(簡体字、繁体字)

The graphic is titled '斜面地の果樹栽培と景観' (Fruit cultivation and Landscape on slopes). It includes a map of Yokote showing the '斜面地' (sloped land) area. The text describes the region's apple farming history, mentioning that the area was developed in the 1870s and is now a major source of Fuji apples. It also mentions the '山まっぴら文化' (Yama-mappira Culture) and the '山まっぴら祭' (Yama-mappira Festival). A QR code is provided for more information.

案内看板への2次元コード記載例
 ※外国語解説文掲載WEBページへのリンク

評価軸③-13
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
都市計画道路八幡根岸線事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和6年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(地方街路交付金事業)

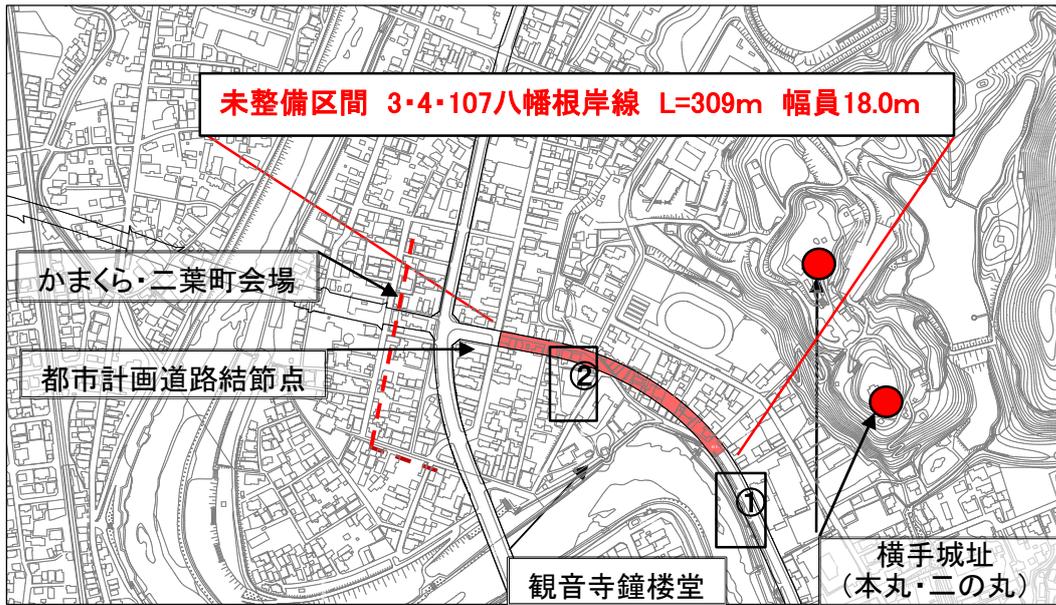
計画に記載している内容 本市中心市街地を東西に連絡し、横手城下の伝統行事でも利用されお祭り会場を通る都市計画道路の八幡根岸線を拡幅し、歩道を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・令和6年3月末までに用地買収(4,514㎡/4,514㎡、100%)、物件補償(32件/33件、97.0%)を完了した
※物件補償の残りの1件は契約済み

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	中心市街地での円滑な交通と冬季でも安心して通行できる空間を早期に確保するため、八幡根岸線の整備推進を図る。 県が国に対し令和7年までの事業認可期間の延長を申請中である。

状況を示す写真や資料等



現状

①地点から都市計画道路結節点方面



現状

都市計画道路結節点方面から②地点方面

評価軸③-14
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
果樹園景観眺望視点場整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和4年度～令和5年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	平鹿りんごの生産環境を一望できる丘陵地に展望スペースを整備し、併せて説明板等の整備を行う。		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・誘導表示 及び 案内看板 の設置完了
 ・亀田の歴史を語る会「りんご樹園地と映画 亀田・醍醐で撮影された2つの映画から」(2/21、亀田地区交流センター主催)
 太平洋戦争開戦の翌年1942年12月公開 東宝『山まつり梵天唄』、1945年10月公開 松竹『そよかぜ』、戦中戦後にりんご樹園地において住民参加で撮影されたふたつの大作映画を紹介

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	りんご樹園地の紹介動画やマップ作成などにより認知度向上を図る

状況を示す写真や資料等



設置状況(上:誘導看板、下:案内看板)



i 斜面地の果樹栽培と景観

Fruit cultivation and Landscape on slopes

横手盆地の東縁、奥羽山脈の麓の丘陵地帯を南北に縦断する、通称「雄平フルーツライン」沿い、醍醐から亀田地域にかけての約4kmの区間は、一帯の傾斜地には霊峰「烏海山」を背景に広大な樹園地が広がっています。日本で栽培されているりんごの品種は、1871年にアメリカから導入されたものです。その5年後、醍醐村(現 醍醐地区)の伊藤謙吉が秋田で初めてりんごの苗木を栽培しました。隔年たりや水はけの良い西向き斜面を活かし、全国有数のりんご産地になっています。烏海山を借景とした樹園地では、雪が溶けると純白の花が咲き誇り、秋には紅蓮の果実を実らせませす。りんご産地としては世界に類をみない豪雪地帯という障壁を乗り越え、このような独特な景観が形成されてきました。

1940年代、この辺りの樹園地は映画「山まつり梵天唄」や「そよかぜ」のロケ地となりました。なかでも、亀田地区の沢口集落付近で撮影された「そよかぜ」(松竹、佐々木康監督)は、主題歌「リンゴの唄」で知られ、時代を象徴する映画として語り継がれています。

山まつり梵天唄のりんご
Information in English

案内看板のデザイン
 ※傾斜地の樹園地から烏海山を望む眺望、
 映画ロケ地の紹介、英語解説への2次元コード掲載

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
ガイド養成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和9年度

支援事業名 文化芸術振興費補助金(博物館を中核とした文化クラスター推進事業)

計画に記載している内容 地域活性化や観光振興に繋げるため、既存の日本語ガイドに加えて、外国語に対応したボランティアガイドを養成するほか、地域や学校等との連携も視野に、幅広い年齢層のガイドを育成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

通訳案内士法に基づき作成した「横手市地域通訳案内士育成等計画」(令和4年7月 観光庁長官認定)により、地域通訳案内士育成研修を実施

【研修期間】10月5日(木)から12月2日(土)、全10コマ、研修時間 40時間

【効果測定】12月16日(土)実施、9名を地域通訳案内士に認定

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 育成した地域通訳案内士の認知度向上や就業機会の確保を図っていく必要がある。

状況を示す写真や資料等



10月19日(日)コミュニケーション・ホスピタリティガイドスキル研修



10月28日(土)地域に関する知識

地域通訳案内士の紹介(英語 / English)

ページID: 1009300 更新日: 2023年10月10日

小坂 将人 / KOSAKA Masato

岩見谷 昌子 / IWAMIYA Masako

ガイドエリア / Business
 横手エリア内 / Effective only in the Yokote City area.

自己紹介 / Self-introduction
 横手市で約10年近く観光ガイドの仕事をしています。ガイドの傍ら、外国人の方々に興味を持って、横手市が大好きな場所をお手伝いをさせていただきます。

ガイドエリア / Business
 横手市内 / Effective only in the area of Yokote City.

自己紹介 / Self-introduction
 東京生まれの東京育ちです。結婚後横手に来ました。英語の教育機関に所属し、子どもたちを指導。中高生の国際交流を指導。ミシガン州(米国)、オンタリオ州(カナダ)に1か月ずつ滞在。そのほかニュージーランド、ドイツ、フランス、米国ニューJersey州(ニューヨーク州)を訪れたことがあります。主婦であり、スキー指導員です。横手の秋と冬のお祭りに通訳ボランティアとして参加。2023年地域通訳案内士になりました。横手は素晴らしいところです。かまくら館や市内の素敵なカフェ、レストラン、伝統的旅館、蕎麦、お城など、ご希望に沿ってお連れしたいと思います。

料金 / Fee
 1時間 4,000円 / 4,000 yen per hour.

Eメール / e-mail

地域通訳案内士の紹介(市WEBサイト)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

	令和5年度
項目	現在の状況

文化財の調査、指定、保存と活用

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

市内には、令和6年3月末時点で、国指定(選定)10件、県指定40件、市指定164件の指定文化財が存在するほか、61件の建造物が登録有形文化財として登録されている。指定文化財については、関係法令に基づき、所有者等が適切な保存管理を実施し、行政はその保存管理に関する助言・指導を行う。未指定の文化財は、計画的に調査研究を行い、保存と活用の措置を講じる必要性等を見極めながら、順次指定等を行う。
また、未指定も含めた文化財の総合的な把握と保護や活用の方針について定めるため、「文化財保存活用地域計画」の計画を策定する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・歴史的建造物2件(住宅)について敷地建物配置の実測調査と、1件の補足調査を実施
- ・金沢柵特定のための金沢城跡の調査を継続中で、今年度は金沢城跡北の丸北東部の調査を実施し、中世期後期の墓跡を確認
- ・県指定文化財太刀銘「守次」ほか、今回初公開となる市指定文化財の『田根森村適産調及び絵図』を展示した雄物川郷土資料館の特別展を実施

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

調査によって明らかとなった歴史的価値について、文化財的価値付けを検討するほか、すでに指定された文化財についても、周知のため資料館の特別展等で公開していく。

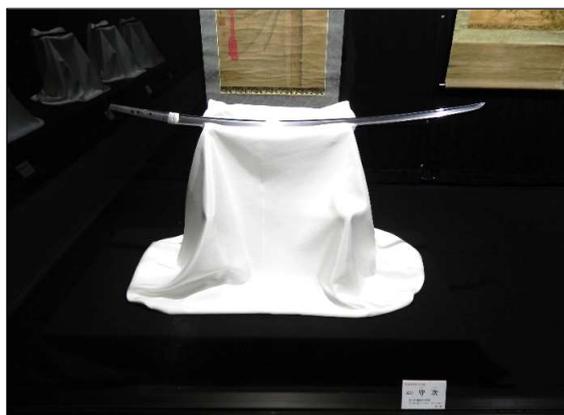
状況を示す写真や資料等



歴史的建造物調査の様子



金沢城跡北の丸北東地区の指導委員会による現地指導(令和5年11月13日)



令和5年度第3回雄物川郷土資料館特別展『刀剣展』
令和5年11月3日(金)～令和6年1月14日(日)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
文化財の修理、周辺環境の整備		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

有形文化財の建造物は、日頃の予防対策を含め、所有者等による維持管理と日常的な点検により損傷の早期発見に努め、健全性の維持や回復のための修繕を促進する。
 指定等文化財の修理及び整備については、改修履歴や調査記録を活用し、文化財の価値を維持することを目的に、適切な修理・整備が行われるよう対応する。その際、適切な指導、助言を行いながら補助制度の活用等、所有者や管理者の財政的な負担軽減を図る。未指定の文化財に関しては、現状調査により重要性及び緊急性を踏まえ、所有者と協議し適切な保存を図られるようにする。
 文化財の周辺環境を保全するため、都市計画法や景観法等による制度・規制を積極的に活用することにより、文化財周辺の景観を阻害する要素の改善や除却を推進するほか、文化財を良好な状態で維持するための環境保全対策についても検討する。また、文化財の説明板や案内板、標柱等の新設・再整備の際は文化財や周辺の環境と調和したものを設置する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・重要文化財及び県指定建造物管理補助(雪害防止等)4件の実施
- ・周辺環境整備として、県指定史跡吉田城跡及び秀衡街道の草刈り(3回実施)を支援
- ・国指定史跡大鳥井山遺跡内にあった残存木処理及び、草刈りの実施

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財のある地域の市民へ理解を求めながら、市民と共同で環境を維持していく取り組みができないか検討する必要がある。

状況を示す写真や資料等



国指定史跡 大鳥井山遺跡
残木処理の様子



国指定史跡 大鳥井山遺跡
草刈りの様子



県指定史跡 吉田城跡
環境整備事業(草刈り後)の様子



秀衡街道
環境整備事業(草刈り後)の様子

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	

文化財の防災

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

横手市地域防災計画により、文化財所有者・管理者、消防等の関係機関と連携しながら、防火・消火設備の整備や防災意識の徹底を図る。
 火災や地震等の災害による文化財の損失を防ぐため、少子高齢化や豪雪地帯という特性も踏まえ、個別の有形文化財ごとに防災対策を検討する等、被災リスクの予防・軽減に向けた取組みを行う。また、防災に係る周知と防災教育の取組みを通じて日常の防災意識の高揚に努めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・重要文化財波宇志別神社神楽殿において、波宇志別神社、消防、市担当 等の関係者による、火災通報及び放水銃による消火訓練を実施
 ・横手市増田伝統的建造物群保存地区において、地域住民、消防、消防団、市担当者 等による、防災訓練を実施
 横手市増田伝統的建造物群保存地区防災施設等整備事業【計画掲載事業 令和2年度完了済】で整備した易操作性消火栓の操作講習も実施(増田まちなみ保存会 主催、27名参加)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

文化財所有者が高齢化しているため、地域住民、消防との協力体制の構築と、易操作性消火栓や自動火災通報装置などの整備を進めていく必要がある。

状況を示す写真や資料等

重要文化財 波宇志別神社神楽殿 防火訓練(令和6年1月20日、文化財防火デー)



横手市増田伝統的建造物群保存地区 防災訓練(令和5年10月11日)



評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	

文化財の普及・啓発の取組、民間団体への支援・協力

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

無形民俗芸能団体(伝統芸能団体)と連携を取りながら、詳細調査や記録作成に関する取り組みを進めるほか、担い手の育成に向けた施策や用具新調への支援等を推進する。
市の歴史や文化財への関心を高めるための冊子・パンフレットの作成のほか、公開講座の開催等により文化財の保存・活用に向けた普及啓発を行うとともに、地域に伝わる保護団体等の後継者育成を目指すため、地域、小中学校、行政が一体となった活動を展開していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・市民向けに、蟹沢遺跡発掘調査現地説明会の実施
- ・小学校の資料館見学の受け入れ、資料館特別展におけるギャラリートークの開催
- ・中学校総合学習において「横荘線から見る横手の発展」と題した授業や、小学校への県指定天然記念物「イバラトミヨ生息地」に関する講話など、市内小中学校と連携した普及啓発活動を実施
- ・民間団体による十足馬場南遺跡の発掘調査に際し、機材貸出のほか、測量及び図面作成等を支援

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財の普及啓発のため、地域団体等へも資料館等の活用を働きかける必要がある。

状況を示す写真や資料等



蟹沢遺跡発掘調査現地説明会の様子



資料館特別展ギャラリートークの様子



中学校総合学習授業の様子



小学校総合学習授業の様子

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
埋蔵文化財の取り扱い		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 関係法令に基づき、周知の埋蔵文化財包蔵地における開発行為については、秋田県教育委員会、原因者と調整・協議を行い、埋蔵文化財の適切な保護に努めていく。新たに遺跡が発見された際の取扱いについても、法令に基づき適切に取り扱う。
 また、「後三年合戦関連遺跡」については、当面は北部重点区域内において、学術研究を目的とした調査を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・県営ほ場整備事業に伴い、蟹沢遺跡の緊急発掘調査を実施し、秋田県では類例の少ない古墳時代の集落跡であることがわかった。昨年度実施した西小泉遺跡・堀田Ⅰ遺跡・浅舞一本杉遺跡の整理作業を行い、報告書を刊行した。ほ場整備事業に伴う分布調査では、下村遺跡を新たに確認した。
 ・学術調査としては、金沢柵推定地である金沢城跡の発掘調査を行い、概報を刊行した【横手市-4に記載】。また、民間団体による十足馬場南遺跡の発掘調査では、大学考古学実習地として誘致及び支援を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	緊急発掘調査面積が増加傾向であり、効率的な調査体制の構築が課題である。

状況を示す写真や資料等



蟹沢遺跡遠景写真(北西から)



蟹沢遺跡の古墳時代の竪穴建物跡(東から)



蟹沢遺跡の古墳時代の須恵器甕口縁部



十足馬場南遺跡での考古学実習の様子
 (9月1日～5日、青山学院大学)
 ※雄勝城推定地

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

	報道等タイトル	年月日	令和5年度 掲載紙等
1	横手公園で「よこて桜まつり」市民300人清掃に汗	令和5年4月18日	秋田魁新報
2	山内杜氏組合100周年記念 県内10蔵の酒 22日発売 100年前の酵母を使用	令和5年4月19日	秋田魁新報
3	横手市十文字町「空」ハードサイダーでにぎわい創出! 念願の自社醸造所完成	令和5年4月27日	秋田魁新報
4	ゴール目指して水しぶき 増田「たらいこぎ競争」戦場カメラマン渡部さんも出場	令和5年4月30日	秋田魁新報
5	沼入りぼんでん4年ぶり勇壮に 横手市平鹿町 男衆、五穀豊穰など願う	令和5年5月5日	秋田魁新報
6	横手の歴史的建造物ポケストップで登場 国交省連携ポケモンGO 東北初	令和5年6月1日	秋田魁新報
7	ハナショウブ咲き誇る 横手・浅舞公園 あやめまつり開幕	令和5年6月25日	秋田魁新報
8	月曜論壇「人形道祖神」の教え 石倉敏明(秋田公立美術大学大学院准教授)	令和5年6月26日	秋田魁新報
9	迫力舟ぶつけ合う 横手の送り盆まつり	令和5年8月17日	秋田魁新報
10	小中生ら手踊り、獅子舞 横手市で「今泉祇園囃子」	令和5年8月21日	秋田魁新報
11	きままに凸凹街歩き53 絶壁削り開いた新道 横手市増田町・真人へグリ	令和5年8月27日	秋田魁新報
12	唄、三味線、踊りなど披露 50年前の長唄、復曲お披露目「岡本新内会」演奏会	令和5年9月4日	秋田魁新報
13	社説 漫画継承へ新法人 横手を原画保存の核に 横手市増田まんが美術館	令和5年9月10日	秋田魁新報
14	横手「旧日新館」がモデル? 漫画「ゲゲゲの鬼太郎」に登場した洋館	令和5年9月14日	秋田魁新報
15	5千発、夜空彩る 横手・増田の花火 特大2尺玉も	令和5年9月16日	秋田魁新報
16	豪華な山車集結 浅舞八幡神社祭典 横手市 子どもたち練り歩く	令和5年9月23日	秋田魁新報
17	クマか、ブドウ被害悲痛 高級品種、次々狙われる 横手市の農園	令和5年9月28日	秋田魁新報
18	増田の蔵「神秘的魅力」22棟公開 観光客続々 地元中学生が案内役	令和5年10月2日	秋田魁新報
19	直筆原画350点ずらり「釣リキチ三平」連載開始50周年 まんが美術館 企画展	令和5年10月7日	秋田魁新報
20	個性ある味わい楽しんで 県内醸造所、横手産ホップ使用、地ビールとハードサイダー	令和5年10月16日	秋田魁新報
21	弘前藩の縁、次世代に 北東北3県 横手で5市町連携確認	令和5年10月17日	秋田魁新報
22	造山地区、段階的に整備か 雄勝城の解明へ前進 民間調査 来月4日に見学会	令和5年10月23日	秋田魁新報
23	「ミス」3人を選出 真人公園りんごまつり 皮むき競争も	令和5年10月23日	秋田魁新報
24	平鹿のリンゴ甘い! 特産PR「味覚まつり」 詰め放題人気 3トン完売	令和5年11月7日	秋田魁新報
25	いぶりがっこ伝統危機 施設改修猶予 来年5月末まで 法改正で衛生管理厳しく	令和5年11月7日	秋田魁新報
26	厳かな舞 五穀豊穰祈願 保呂羽山の霜月神楽 神職ら夜を徹し33の神事	令和5年11月9日	秋田魁新報
27	歩み振り返り展望探る「増田の町並み」重伝建選定10周年 記念シンポ	令和5年11月19日	秋田魁新報
28	旧片野家住宅も答申 登録有形文化財	令和5年11月25日	秋田魁新報
29	しめ飾り作り、餅つきに精 雄物川小5年生 年末年始の風習体験	令和5年12月15日	秋田魁新報
30	歳末点描2023「辰」の土鈴作り、心込め 中山人形	令和5年12月21日	秋田魁新報
31	JAふるさと「新世界」ブランド1年 雪のマイナスイメージ転換 認知度向上で高値狙う	令和5年12月24日	秋田魁新報
32	「出前かまくら」都内へ 岩手・北上で雪調達 横手市あすから展示	令和5年12月28日	秋田魁新報
33	横手の「かまくら」きょう開幕 暖冬少雪準備に苦慮	令和6年2月15日	秋田魁新報
34	気ままに凸凹街歩き59 横手市・横手川 流路が導く羽州街道	令和6年2月25日	秋田魁新報
35	本県3品「100年フード」に 文化庁、新たに50件 いぶりがっこ、西馬音内そば ほか	令和6年3月6日	秋田魁新報

ほか 横手市歴史的風致維持向上計画に関連した報道 84件

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・荒処の沼入り梵天行事、横手の送り盆行事・かまくら、今泉祇園囃子、保呂羽山の霜月神楽などの **指定民俗文化財** や、浅舞八幡神社の祭礼、横手公園桜まつり、真人公園たらいこぎ競争・りんごまつり、浅舞公園あやめまつり、増田の花火、平鹿りんご味覚まつり、など **歴史的風致を構成する伝統行事** 等も通常開催され日常がもどりつつある。
 ・山内杜氏組合100周年記念酒、十文字「空」ハードサイダー醸造所完成、横手産ホップ使用の地ビール・ハードサイダー、いぶりがっこ伝統危機、クマによるブドウ被害、JA秋田ふるさと統一ブランド「雪国よこて新世界」の展開など、**発酵文化** や **果樹栽培** といった歴史的風致を形成するキーワードに関わる展開が期待されるとともに、課題も散見された。
 ・東北初の国交省連携ポケモンGO、人形道祖神、増田まんが美術館(原画アーカイブ、釣リキチ三平連載50年)、旧片野家住宅(国登録答申、トライアル開放)、増田の町並み 重伝建選定10周年、弘前藩ゆかり北東北5市町連携など、**歴史まちづくり**、**マンガ原画**、**広域連携**など、これまでの成果や文化観光 推進の着実な取り組みがみられる。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり
 計画の進捗に影響なし

「歴史的風致」の周辺に広がる地域の文化的な資産をすくい上げ、多角的・多面的な活用を図ることで、連携や協働を促進している。

状況を示す写真や資料等

【次項に続く】

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和5年度

項目

歴史的建造物と周辺環境の保全による、まちなか回遊とにぎわいの創出

計画に記載している内容 景観重点地区や保存地区を中心とした、指定文化財及び歴史的価値の高い建造物が分布する区域については、文化財を核としてその周辺環境を一体として保存するために、横手市景観計画に基づき、歴史的建造物等の保存や修理とあわせた建築物等の修景整備による町並み景観の保全形成を継続するものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

羽黒町上内町景観重点地区に所在する旧片野家住宅の利活用【横手市-7も参照】

- ・旧片野家住宅が国登録有形文化財(建造物)に登録(3/6告示)
- ・旧片野家住宅トライアル開放の実施(6件、延べ約300人来場)
- ・横手城下歴史フェスタの開催(10/28-29、延べ800人来場)

北部重点区域内の横手城下エリアにおけるまちなか回遊性向上の取り組み

- ・歴まちPokémonGOの実装(6/1～)【横手市-24も参照】
- ・音のARアプリ きくあるく「横手花街 宮本菜由と巡る大正ロマンうらから散歩」の造成
- ・横手城下まちあるき マップの配布、公開

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

市の歴史まちづくりや観光拠点として位置づけられる横手市増田伝統的建造物保存地区との周遊を意識したエリア造成を図る。

状況を示す写真や資料等



旧片野家住宅トライアル開放の様子
上:9/2 岡本新内会
※岡本新内(市指定無形文化財)

下:6/16-18 皆川典子陶芸の世界



きくあるく横手花街 チラシ



横手城下まちあるき マップ ※4コース掲載

<p>評価対象年度</p>	<p>令和5年度</p>
<p>・法定協議会等におけるコメント</p>	
<p>コメントが出された会議等の名称: 令和5年度第2回横手市歴史的風致維持向上協議会</p>	
<p>会議等の開催日時: 令和6年2月26日(月)</p>	
<p>【全体評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者の語りや歴史をセットにすると購買意欲が増しリピーター獲得につながる。例えば農村景観であれば、生産者が路上や産直で農産物を売りながら語りもするようになると、歴史まちづくりのステージがひとつあがる。横手城下エリアでは市指定文化財を使った農産物直売所があるが、そこで作り手の話しや背景にある歴史の話しを聞くことができれば、くり返しまちを訪れてみたいと思わせ、興味をひかれるまちになっていくだろう。 ・地元の人にはわかるが、観光できた来街者にはわからないということがある。ガイドなど対面で伝えるということは大切だが伝わっているかどうかを検証することも必要。案内看板にしても、設置後に伝えたいことが伝わっているかを検証することが重要。外国人にはなおさら背景がわからないので、英語標記をただけでよいか、といった観点からも検証していくことが次のステップとして求められる。 <p>【良好な景観を形成する施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市では景観重点地区における景観形成事業を行っている。住民からの申請により、板塀や生垣の設置・補修、ゴミ集積所等の塗装等を支援することで良好な景観の形成を図っているもの。すでに来年度の本事業活用に関する問い合わせもきており、市補助事業として継続していく。 ・歴史的観光資源高質化支援事業(国補助)を活用した歴史的なまちなみ景観を阻害する建築物の除却は県内初の事例であった。重点地区として設定している区域では、景観計画にそぐわない建造物があれば景観改善推進事業費補助金(国補助)の活用も可能である。 <p>【横手市増田伝統的建造物群保存地区修理等事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修理した後藤精肉店、高橋茶舗は店舗営業を継続しているか？後者の修理後外観に看板等が見られないが、修理後公開する際にそれとわかる看板や表示等はどのようになるのか？ <p>【北部重点区域環境整備検討及び整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横手城下語り部 について、観光方面との連携も含めた活動の展開を期待する。 ・横手城下まちあるきマップは、内容もディープで、英語解説テキストページへのリンク掲載など工夫されたものであるが、課題として日本人向けのスマホでも見られるようなガイドコンテンツの必要性を感じた。まちあるき音声解説アプリの実証実験の結果はどうだったか。 ・まちあるきマップ と語りべ がかみあうとより活性化するだろう。まちあるきの核となる場所にマップが置いてあり、語りべ のたまり場がある、ときにはガイドしてくれるようなしなかけを次のステップとして考えてほしい。 ・「横手のかまくら」での旧片野家住宅の取組みは、誘致企業や中学生も関わり、市の文化振興・企業誘致・観光の各セクションが横断的に関わった有意義なプロジェクトであったと評価している。 <p>【果樹園景観眺望視点場整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・案内看板掲載図面は、地理感のない来訪者であった場合、視点と図面の方向が一致している方が親切である。案内看板の設置数や視点場として設定している箇所数は？ ・視点場の位置や樹園地の歴史や景観を紹介するようなパンフレット、視点場のことを駅や街なかや観光施設でも知ることができるしなかけがあればよいと思う。 ・景観要素に加えて、果樹試験場に勤務されりんごの無袋栽培を確立された“成田弘”さんのこと、終戦直後に撮影された松竹映画「そよかぜ」にまつわる物語など、試験場があって無袋栽培による完熟りんごを味わうことのできる背景にある歴史や物語を加味し、訴求力のある付加価値として発信していければよいと思う。 <p>【郷土文化保存伝承事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地域に伝承される有形無形の文化財やお祭り等は、少子化・核家族化によって地域や家庭で伝承していく力が衰えている。各地域の文化財保護協会等に任せるだけでなく、実施回数等の定量的な指標以外にも、質的な指標も定めて取り組んでもらいたい。地元で伝承事業に関わっているひとりとして危機感をもっている。 <p>【今後の対応方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的建造物群保存地区修理等事業では、それぞれ総菜販売及び学習塾、貸店舗として使用を検討中と聞いている。看板は本事業の補助対象外のため現況では看板等のない状態だが、景観重点地区でもあるため景観形成事業として看板設置に市補助が活用可能。増田町観光協会及び市関係課で増田の町並み定例会(毎月)を設け情報共有を図っており、マップ等で来街者に建物の存在や謂れが伝わる工夫もしていきたい。 ・横手城下語り部 は、市主催講座の受講生により結成されたもの。自主サークルとして生涯学習活動推進団体に登録されている。住民向けまちあるきや学習会等もやりたいと聞いており、連携を働きかけていきたい。 ・音声解説アプリは、きくあるく横手城下(R4)、きくあるく横手花街(R5)が民間企業主催の実証実験により造成された。市も参画しシナリオ作成等を担った。横手市観光協会を窓口の有料貸出実験も行い、まちあるき音声ガイドの実用化に向けた課題や多言語ガイドコンテンツとしての将来性など、有意義な実験であった。 ・視点場の案内看板は、北部-南部重点区域間の位置関係や説明文の理解を深めることを意図し、あえて図面方向は一致させず矢印で視点方向を図示した。雄平フルーツライン沿いには他にもりんごの生産環境を一望できる地点はあるが、駐車スペースの確保や安全性の観点から、視点場として設定したのは本地点のみ。今後、紹介動画等の作成も検討したい。 ・郷土文化の保存伝承については、連携という掛け声だけでなく「文化財保護」を主体に、「地域づくり」「文化観光」「社会教育」など組織や分野横断的な視野が求められる。文化財保存活用地域計画の実効性を担保するような推進体制の構築と意識改革を図る。 	